



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 06-6203-1407
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 178,748 | 0.4 | 19,978 | 35.7 | 19,925 | 37.6 | 10,951 | 14.4 |
| 24年3月期第2四半期 | 178,026 | △5.6 | 14,726 | △1.4 | 14,480 | 0.7 | 9,569 | 10.6 |

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 12,937百万円(60.1%) 24年3月期第2四半期 8,079百万円(— %)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | 27.56 | — |
| 24年3月期第2四半期 | 24.09 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 579,150 | 328,587 | 56.7 |
| 24年3月期 | 559,410 | 319,227 | 57.1 |

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 328,587百万円 24年3月期 319,227百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 9.00 | — | 9.00 | 18.00 |
| 25年3月期 | — | 9.00 | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | 9.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|--------|------|--------|------|--------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 348,000 | △0.7 | 28,000 | 37.2 | 27,000 | 43.1 | 13,500 | 56.4 | 33.98 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は【添付資料】P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行なっております。詳細は【添付資料】P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 25年3月期2Q | 397,900,154株 | 24年3月期 | 397,900,154株 |
| 25年3月期2Q | 589,325株 | 24年3月期 | 588,699株 |
| 25年3月期2Q | 397,311,122株 | 24年3月期2Q | 397,312,428株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

- 当社は、平成24年11月1日(木)に機関投資家・アナリスト向けに、第2四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配布した資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

【添付資料】

目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) セグメント情報等 | 11 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界においては、画期的新薬の創出の停滞や新薬開発コストの増大に加え、承認審査の厳格化や医療費抑制への取組みが世界的に進行しており、一方、国内においても、後発医薬品の使用促進策や薬価改定が実施されるなど、厳しい事業環境が続いております。

このような状況のもと、国内では、高血圧症治療剤「アバプロ」、非定型抗精神病薬「ロナセン」をはじめとする戦略品や、ビッグアナイド系経口血糖降下剤「メトグルコ」等の新製品の販売拡大に引き続き注力いたしました。

海外では、米国子会社のサノビオン・ファーマシューティカルズ・インク（以下「サノビオン社」）において、非定型抗精神病薬「ラツダ」の米国内での一層の市場浸透・売上拡大に全力で取り組むとともに、9月にはカナダにおいても「ラツダ」を新発売いたしました。また、がん領域における開発パイプラインの強化と研究開発体制の拡充を目的として、ボストン・バイオメディカル・インク（以下「BBI社」）を4月に、呼吸器領域におけるパイプラインの獲得を目的として、エレベーション・ファーマシューティカルズ・インク（現サノビオン・レスピラトリー・ディベロップメント・インク、以下「SRD社」）を9月に、それぞれ買収し、完全子会社化いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期と比べ横ばいの1,787億48百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。また、経費支出が前年同四半期を大きく下回ったため、営業利益は199億78百万円（前年同四半期比35.7%増）、経常利益は199億25百万円（前年同四半期比37.6%増）となりました。四半期純利益は、米国において組織・業務改革を進めたことに伴う事業構造改善費用等を特別損失に計上した結果、109億51百万円（前年同四半期比14.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本

薬価改定による減収要因がありましたが、戦略品の「アバプロ」、「ロナセン」、パーキンソン病治療剤「トレリーフ」に加え、新製品の「メトグルコ」が大きく伸長したこと等により、セグメントの売上高はほぼ横ばいの884億10百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。利益面では、薬価改定による売上総利益の減少が影響し、セグメント利益は336億95百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

②北米

「ラツダ」や催眠鎮静剤「ルネスタ」が順調に推移したうえ、ライセンスにかかるマイルストーン収入等があったため、独占期間の満了を迎えた短時間作用型β作動薬「ゾペネックス」の販売減少や円高の影響等をカバーし、セグメントの売上高は594億54百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。費用については、人件費の削減等により販売費・一般管理費が減少したため、セグメント利益は81億63百万円（前年同四半期比637.1%増）となりました。

③中国

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」（現地販売名「美平」）の売上高は前年同四半期を上回って推移し、セグメントの売上高は39億49百万円（前年同四半期比17.7%増）、セグメント利益は14億39百万円（前年同四半期比58.9%増）となりました。

④海外その他

メロペンの輸出が減少した影響が大きく、セグメントの売上高は66億51百万円（前年同四半期比31.9%減）、セグメント利益は28億89百万円（前年同四半期比35.6%減）となりました。

上記報告セグメントの他に当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は202億83百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益は15億65百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産については、BBI社およびSRD社の買収に伴い、有価証券(譲渡性預金)が減少し、仕掛研究開発等の無形固定資産が大きく増加しました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ197億39百万円増加し、5,791億50百万円となりました。

負債については、未払金や長期借入金は減少しましたが、買収に関連した長期繰延税金負債やその他の固定負債の増加により、前連結会計年度末に比べ103億79百万円増加し、2,505億62百万円となりました。

純資産については、四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ93億60百万円増加し、3,285億87百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は56.7%となりました。

SRD社買収に伴う企業結合会計の処理

SRD社買収に伴う資産等の評価および会計処理は以下のとおりです。なお、取得原価の資産配分は、現時点では暫定的な金額であります。

| 資産等の評価内容 | 取得原価 配分前 | 取得原価 配分後 | (百万円未満切捨て) |
|-----------------|-------------|-------------|----------------|
| | | | 会計処理 (償却方法) |
| 仕掛研究開発 (無形固定資産) | — | 18,415 | 資産計上 (承認取得後償却) |
| 上記に対する繰延税金負債 | — | △6,896 | |
| 条件付対価 (現在価値) | — | △8,265 | 負債に計上 |
| その他の資産・負債 (純額) | 34 | 1,307 | |
| のれん | — | 3,306 | 償却年数20年 |
| 合計 | 34 | 7,866 | |

当第2四半期連結会計期間末から同社を連結の範囲に含めており、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に同社の業績は含まれておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成24年7月27日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成25年3月期通期連結業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------|--------|--------|--------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | |
| 前回発表予想（A） | 348,000 | 25,000 | 24,000 | 12,000 | 30円20銭 |
| 今回発表予想（B） | 348,000 | 28,000 | 27,000 | 13,500 | 33円98銭 |
| 増減額（B－A） | — | 3,000 | 3,000 | 1,500 | |
| 増減率（％） | — | 12.0 | 12.5 | 12.5 | |
| （ご参考）前期実績 （平成24年3月期） | 350,395 | 20,402 | 18,872 | 8,629 | 21円72銭 |

売上高は、北米等海外では堅調に推移するものの、国内で戦略品の競合激化や後発品使用促進の影響等を受けることが予想され、全体では前回公表予想並みを見込んでおります。

販売費及び一般管理費は、経費削減や発生時期のずれ等により減少する見込みです。

これらのことから、平成25年3月期通期連結業績予想を、平成24年7月27日の公表値から、営業利益は30億円増の280億円、経常利益は30億円増の270億円、当期純利益は15億円増の135億円に修正いたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

従来、当社および国内連結子会社は建物以外の有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用しておりましたが、今後はグローバル製品の海外売上高が拡大していくことが見込まれることから、重要性が高まる海外連結子会社が採用する減価償却方法との整合をはかるため、第1四半期連結会計期間より、当社および国内連結子会社について、有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更することといたしました。

この減価償却方法の変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は、801百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は549百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,953 | 20,184 |
| 受取手形及び売掛金 | 101,955 | 94,991 |
| 有価証券 | 99,118 | 83,960 |
| 商品及び製品 | 42,480 | 47,063 |
| 仕掛品 | 2,591 | 2,565 |
| 原材料及び貯蔵品 | 13,045 | 12,898 |
| 繰延税金資産 | 31,782 | 30,087 |
| 短期貸付金 | 25,000 | 25,000 |
| その他 | 5,433 | 4,900 |
| 貸倒引当金 | △110 | △104 |
| 流動資産合計 | 334,250 | 321,547 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 91,115 | 91,389 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △50,753 | △51,554 |
| 建物及び構築物（純額） | 40,361 | 39,834 |
| 機械装置及び運搬具 | 76,854 | 76,696 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △66,997 | △67,197 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 9,856 | 9,498 |
| 土地 | 10,248 | 10,254 |
| 建設仮勘定 | 2,121 | 4,726 |
| その他 | 28,104 | 28,309 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △23,994 | △24,148 |
| その他（純額） | 4,109 | 4,161 |
| 有形固定資産合計 | 66,697 | 68,475 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 64,311 | 67,077 |
| 特許権 | 32,524 | 23,821 |
| 仕掛研究開発 | 5,659 | 46,443 |
| その他 | 5,211 | 4,928 |
| 無形固定資産合計 | 107,706 | 142,270 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 29,855 | 29,445 |
| 繰延税金資産 | 11,624 | 8,221 |
| その他 | 9,331 | 9,244 |
| 貸倒引当金 | △55 | △54 |
| 投資その他の資産合計 | 50,755 | 46,857 |
| 固定資産合計 | 225,159 | 257,603 |
| 資産合計 | 559,410 | 579,150 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 16,860 | 15,279 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 10,000 | 10,000 |
| 未払法人税等 | 5,437 | 6,747 |
| 賞与引当金 | 7,592 | 7,157 |
| 返品調整引当金 | 3,657 | 4,976 |
| 売上割戻引当金 | 18,527 | 19,509 |
| 未払金 | 30,009 | 23,271 |
| その他 | 13,881 | 13,835 |
| 流動負債合計 | 105,965 | 100,777 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 70,000 | 70,000 |
| 長期借入金 | 48,000 | 43,000 |
| 繰延税金負債 | 330 | 11,353 |
| 退職給付引当金 | 10,790 | 11,172 |
| その他 | 5,097 | 14,259 |
| 固定負債合計 | 134,217 | 149,785 |
| 負債合計 | 240,183 | 250,562 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 22,400 | 22,400 |
| 資本剰余金 | 15,860 | 15,860 |
| 利益剰余金 | 305,664 | 313,039 |
| 自己株式 | △649 | △649 |
| 株主資本合計 | 343,275 | 350,650 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,016 | 7,217 |
| 為替換算調整勘定 | △32,064 | △29,280 |
| その他の包括利益累計額合計 | △24,047 | △22,062 |
| 純資産合計 | 319,227 | 328,587 |
| 負債純資産合計 | 559,410 | 579,150 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 178,026 | 178,748 |
| 売上原価 | 49,766 | 50,032 |
| 売上総利益 | 128,260 | 128,715 |
| 返品調整引当金繰入額 | 7 | 4 |
| 差引売上総利益 | 128,253 | 128,711 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料 | 18,168 | 17,698 |
| 賞与引当金繰入額 | 5,156 | 4,830 |
| 研究開発費 | 27,288 | 27,800 |
| その他 | 62,913 | 58,403 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 113,526 | 108,732 |
| 営業利益 | 14,726 | 19,978 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 195 | 164 |
| 受取配当金 | 397 | 454 |
| その他 | 833 | 868 |
| 営業外収益合計 | 1,426 | 1,486 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 599 | 549 |
| 寄付金 | 720 | 746 |
| その他 | 352 | 244 |
| 営業外費用合計 | 1,671 | 1,539 |
| 経常利益 | 14,480 | 19,925 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,235 | — |
| 特別利益合計 | 1,235 | — |
| 特別損失 | | |
| 事業構造改善費用 | — | 1,087 |
| 減損損失 | — | 416 |
| 特別損失合計 | — | 1,503 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 15,716 | 18,421 |
| 法人税等 | 6,146 | 7,470 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 9,569 | 10,951 |
| 四半期純利益 | 9,569 | 10,951 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 9,569 | 10,951 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 280 | △798 |
| 為替換算調整勘定 | △1,770 | 2,784 |
| その他の包括利益合計 | △1,490 | 1,985 |
| 四半期包括利益 | 8,079 | 12,937 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 8,079 | 12,937 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 15,716 | 18,421 |
| 減価償却費 | 18,394 | 18,683 |
| 減損損失 | — | 416 |
| のれん償却額 | 1,962 | 1,854 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 32 | 64 |
| その他の引当金の増減額(△は減少) | 1,701 | 1,439 |
| 受取利息及び受取配当金 | △592 | △618 |
| 支払利息 | 599 | 549 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △1,235 | △1 |
| 事業構造改善費用 | — | 1,087 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 16,021 | 7,408 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 1,130 | △4,195 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,118 | △1,616 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △9,019 | △7,728 |
| その他 | △4,771 | △938 |
| 小計 | 41,058 | 34,828 |
| 利息及び配当金の受取額 | 682 | 777 |
| 利息の支払額 | △563 | △524 |
| 事業構造改善費用の支払額 | — | △1,183 |
| 法人税等の支払額 | △7,064 | △5,541 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 34,113 | 28,355 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △5,887 |
| 有価証券の取得による支出 | △22,064 | △28,389 |
| 有価証券の売却による収入 | 5,863 | 4 |
| 有価証券の償還による収入 | 14,783 | 15,986 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,989 | △2,558 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,935 | 8 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,021 | △1,010 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,856 | △758 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △23,881 |
| その他 | 41 | △274 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,307 | △46,761 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △50,000 | — |
| 長期借入れによる収入 | 15,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △5,600 | △5,000 |
| 社債の発行による収入 | 19,895 | — |
| 自己株式の純増減額(△は増加) | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △3,575 | △3,576 |
| その他 | △33 | △34 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △24,314 | △8,611 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △158 | 650 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 3,332 | △26,366 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 82,868 | 92,179 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 86,201 | 65,813 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|-------|-----------|---------|------------|---------|
| | 医薬品事業 | | | | | | |
| | 日本 | 北米 | 中国 | 海外 その他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 88,623 | 56,170 | 3,355 | 9,769 | 157,918 | 20,107 | 178,026 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 124 | — | — | — | 124 | 44 | 168 |
| 計 | 88,748 | 56,170 | 3,355 | 9,769 | 158,043 | 20,151 | 178,195 |
| セグメント利益 | 33,878 | 1,107 | 905 | 4,488 | 40,380 | 1,617 | 41,998 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 40,380 |
| 「その他」の区分の利益 | 1,617 |
| 研究開発費(注) | △27,288 |
| セグメント間取引消去 | 17 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 14,726 |

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|-------|-----------|---------|------------|---------|
| | 医薬品事業 | | | | | | |
| | 日本 | 北米 | 中国 | 海外 その他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 88,410 | 59,454 | 3,949 | 6,651 | 158,465 | 20,283 | 178,748 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 79 | — | — | — | 79 | 43 | 123 |
| 計 | 88,490 | 59,454 | 3,949 | 6,651 | 158,545 | 20,327 | 178,872 |
| セグメント利益 | 33,695 | 8,163 | 1,439 | 2,889 | 46,188 | 1,565 | 47,754 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 46,188 |
| 「その他」の区分の利益 | 1,565 |
| 研究開発費(注) | △27,800 |
| セグメント間取引消去 | 24 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 19,978 |

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、仕掛研究開発の一部について減損損失を計上しました。

将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発について回収可能性を評価し、416百万円を減損損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「北米」セグメントにおいて、SRD社を買収し、完全子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては3,306百万円であります。

なお、取得原価の資産配分が完了していないため、発生したのれんは暫定的な金額であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。